

7 経営成績について（税抜き）

当年度の経営成績は、次のとおりである。

(1) 水道事業会計の損益の状況

（単位：円）

科 目		水道事業 (A)	鶴形簡易水道事業 (B)	合計（水道事業会計） (A) + (B)
営業収益	給水収益	726,391,568	6,631,111	733,022,679
	その他の営業収益	37,669,807	15,000	37,684,807
	計	764,061,375	6,646,111	770,707,486
営業費用	原水及び浄水費	128,343,866	1,050,000	129,393,866
	配水及び給水費	51,551,974	1,302,995	52,854,969
	業務費	87,039,398	491,908	87,531,306
	総係費	16,167,313	3,600	16,170,913
	減価償却費	301,155,202	2,788,383	303,943,585
	資産減耗費	1,423,549	0	1,423,549
	計	585,681,302	5,636,886	591,318,188
営業損益		178,380,073	1,009,225	179,389,298
営業外収益	受取利息	5,094	0	5,094
	他会計補助金	18,751,124	1,058,137	19,809,261
	雑収益	675,132	0	675,132
	計	19,431,350	1,058,137	20,489,487
営業外費用	支払利息	159,999,801	1,923,888	161,923,689
	雑支出	1,169,822	729	1,170,551
	計	161,169,623	1,924,617	163,094,240
営業外損益		-141,738,273	-866,480	-142,604,753
経常損益		36,641,800	142,745	36,784,545
特別損益		-64,905	0	-64,905
純利益		36,576,895	142,745	36,719,640

水道事業会計の当年度純利益は、水道事業が36,576,895円、鶴形簡易水道事業が142,745円で合計で36,719,640円となっている。

また、水道事業会計の純利益の推移は次表のとおりである。

（単位：円）

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
純利益	27,295,329	8,043,891	27,727,703	39,772,859	36,719,640
前年度比較	5,118,441	-19,251,438	19,683,812	12,045,156	-3,053,219
増減率（%）	23.1	-70.5	244.7	43.4	-7.7

当年度の純利益は、前年度に比較して3,053,219円減少した。これは、給水収益が減となったことが、主な要因となっている。

(2) 水道事業の損益の状況

(単位：円、%)

科 目		23年度 (A)	22年度 (B)	比較増減 (A) - (B)	増減率 $\frac{(A) - (B)}{(B)} \times 100$
営業収益	給水収益	726,391,568	734,906,550	-8,514,982	-1.2
	その他の営業収益	37,669,807	38,497,256	-827,449	-2.1
	計	764,061,375	773,403,806	-9,342,431	-1.2
営業費用	原水及び浄水費	128,343,866	132,080,354	-3,736,488	-2.8
	配水及び給水費	51,551,974	48,389,042	3,162,932	6.5
	業務費	87,039,398	90,656,824	-3,617,426	-4.0
	総係費	16,167,313	15,852,165	315,148	2.0
	減価償却費	301,155,202	297,526,958	3,628,244	1.2
	資産減耗費	1,423,549	4,132,283	-2,708,734	-65.6
	計	585,681,302	588,637,626	-2,956,324	-0.5
営業損益		178,380,073	184,766,180	-6,386,107	-3.5
営業外収益	受取利息	5,094	10,821	-5,727	-52.9
	他会計補助金	18,751,124	18,901,871	-150,747	-0.8
	雑収益	675,132	536,101	139,031	25.9
	計	19,431,350	19,448,793	-17,443	-0.1
営業外費用	支払利息	159,999,801	163,393,992	-3,394,191	-2.1
	雑支出	1,169,822	1,464,483	-294,661	-20.1
	計	161,169,623	164,858,475	-3,688,852	-2.2
営業外損益		-141,738,273	-145,409,682	3,671,409	2.5
経常損益		36,641,800	39,356,498	-2,714,698	-6.9
特別損益		-64,905	-39,630	-25,275	-63.8
純利益		36,576,895	39,316,868	-2,739,973	-7.0

水道事業の営業損益は178,380,073円の利益で、前年度に比較して6,386,107円(3.5%)の減となっている。これは、給水収益の減が主な要因である。

営業外損益は141,738,273円の損失で、支払利息の減により、前年度に比較して3,671,409円(2.5%)損失額が減少している。

この結果、特別損失64,905円を差し引くと、当年度純利益は36,576,895円となり、前年度に比較して、2,739,973円(7.0%)の減となっている。

① 営業収益

給水収益の決算額は726,391,568円で、前年度に比較して8,514,982円(1.2%)の減である。これは、人口減少等に伴う使用水量の減が主な要因である。

その他の営業収益の決算額は37,669,807円で、前年度に比較して827,449円(2.1%)の減となっている。

給水収益の年度別推移は、次表のとおりである。

(単位：円)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
給水収益	744,948,634	719,656,745	724,866,572	734,906,550	726,391,568
前年度比較	4,236,340	-25,291,889	5,209,827	10,039,978	-8,514,982
増減率(%)	0.6	-3.4	0.7	1.4	-1.2

②営業費用

営業費用の決算額は585,681,302円で、前年度に比較して2,956,324円(0.5%)の減となっている。営業費用の主な内容は、人件費(給料・手当・法定福利費)32,171,150円のほか、修繕費31,985,283円、委託料207,144,259円、減価償却費301,155,202円などである。

前年度からの増減の大きかった主なものは、修繕費が3,924,823円の増、減価償却費が3,628,244円の増、人件費が2,918,153円の減、委託料が3,021,919円の減、資産減耗費が2,708,734円の減である。

③営業外収益

営業外収益の決算額は19,431,350円で、前年度に比較して17,443円(0.1%)の減となっている。この内容は、一般会計からの補助金18,751,124円と雑収入等である。

④営業外費用

営業外費用の決算額は161,169,623円で、前年度に比較して3,688,852円(2.2%)の減となっている。この主な内容は、支払利息で、当年度は159,999,801円と、営業損益の黒字178,380,073円の89.7%に相当する額となっている。

⑤特別損失

特別損失は、過年度損益修正損の64,905円で、過年度分の過誤納水道料金に対する還付金である。

(3) 鶴形簡易水道事業の損益の状況

(単位：円、%)

科 目		23年度 (A)	22年度 (B)	比較増減 (A) - (B)	増 減 率
					$\frac{(A) - (B)}{(B)} \times 100$
営業収益	給 水 収 益	6,631,111	6,932,402	-301,291	-4.3
	その他の営業収益	15,000	5,000	10,000	200.0
	計	6,646,111	6,937,402	-291,291	-4.2
営業費用	原水及び浄水費	1,050,000	1,080,000	-30,000	-2.8
	配水及び給水費	1,302,995	1,277,610	25,385	2.0
	業 務 費	491,908	502,241	-10,333	-2.1
	総 係 費	3,600	4,500	-900	-20.0
	減価償却費	2,788,383	2,743,920	44,463	1.6
	資産減耗費	0	0	—	—
	計	5,636,886	5,608,271	28,615	0.5
営 業 損 益		1,009,225	1,329,131	-319,906	-24.1
営業外収益	受 取 利 息	0	0	—	—
	他会計補助金	1,058,137	1,066,340	-8,203	-0.8
	雑 収 益	0	0	—	—
	消費税還付金	0	0	—	—
	計	1,058,137	1,066,340	-8,203	-0.8
営業外費用	支 払 利 息	1,923,888	1,938,800	-14,912	-0.8
	雑 支 出	729	680	49	7.2
	計	1,924,617	1,939,480	-14,863	-0.8
営 業 外 損 益		-866,480	-873,140	6,660	0.8
経 常 損 益		142,745	455,991	-313,246	-68.7
特 別 損 益		0	0	—	—
純 利 益		142,745	455,991	-313,246	-68.7

鶴形簡易水道事業の営業損益は1,009,225円の利益で、前年度に比較して319,906円(24.1%)の減となっている。営業外損益は866,480円の損失で、前年度に比較して6,660円(0.8%)損失額が減少している。

この結果、当年度純利益は142,745円で、前年度に比較して313,246円(68.7%)の減となっている。これは、給水収益の減が主な要因である。

(4) 損益関係指標

水道事業会計における損益関係指標の年度別推移は、次表のとおりである。

(単位：%)

区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	22年度 全国平均
営業収支比率	134.0	129.7	130.8	131.3	130.3	112.2
経常収支比率	103.7	101.0	103.6	105.2	104.9	108.4

◇営業収支比率

営業収支比率は、営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示すもので、100%で収支均衡となるが、100%を大幅に超える必要があると言われている。

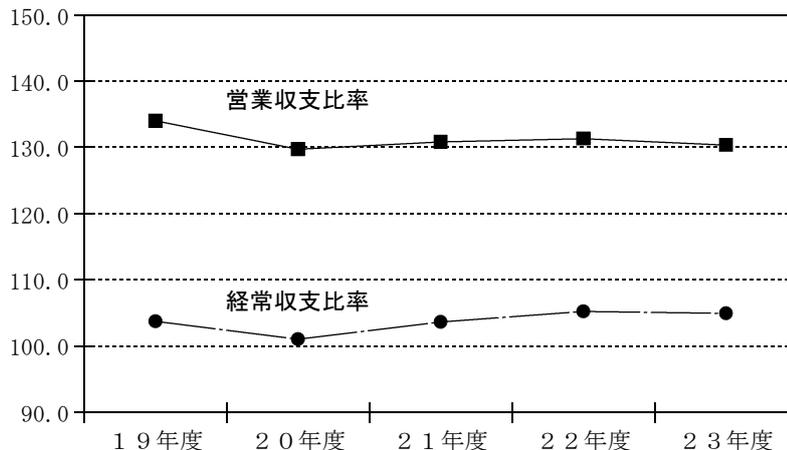
◇経常収支比率

経常収支比率は、経常費用(営業費用+営業外費用)が経常収益(営業収益+営業外収益)によってどの程度賄われているかを示すもので、100%以上であるときは経常利益が発生していることを示す。また、営業収支比率との差が大きいほど、営業外費用の支払利息の占める割合が大きいことを示し、財政構造が硬直化していることを表している。

平成23年度の営業収支比率は130.3%、経常収支比率は104.9%で、前年度と比較して営業収支比率は1.0ポイント、経常収支比率は0.3ポイントそれぞれ下回っている。当年度の営業収支比率は、平成22年度の全国平均を上回っているが、逆に経常収支比率は全国平均を下回っている。

これは、企業努力等により営業収益はある程度確保されているが、一方で、営業外費用のほとんどを占める支払利息の割合が、全国の類似団体と比べて大きくなっており、企業債の借入が経営を圧迫していることを示している。

(単位：%) 水道事業会計の経常収支比率と営業収支比率の推移



(5) 給水原価と供給単価

(単位：円)

区	分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	22年度 全国平均
水道事業	供給単価 A	167.04	167.49	167.31	167.27	167.56	168.49
	給水原価 C + D + E = B	175.33	180.05	174.79	171.50	172.28	172.59
	資本費 C	106.23	110.70	107.01	104.91	106.38	—
	給与費 D	13.61	9.73	7.65	7.99	7.42	—
	その他の費用 E	55.49	59.62	60.13	58.60	58.48	—
販売利益 A - B = F	-8.29	-12.56	-7.48	-4.23	-4.72	-4.10	
鶴形簡易水道事業	供給単価 A	147.99	148.56	148.26	148.09	147.18	—
	給水原価 C + D + E = B	170.46	158.58	164.01	161.24	167.83	—
	資本費 C	101.53	96.75	100.72	100.03	104.59	—
	給与費 D	6.38	0.00	0.00	0.00	0.00	—
	その他の費用 E	62.55	61.83	63.29	61.21	63.24	—
販売利益 A - B = F	-22.47	-10.02	-15.75	-13.15	-20.65	—	

(注) 消費税抜き、各項目とも有収水量1m³当たりの数値である。

給水原価は特別損失を含んでいない。資本費は(減価償却費+支払利息)÷有収水量。

水道事業の供給単価は167.56円、給水原価は172.28円で、差し引き販売利益は4.72円のマイナスとなっている。

鶴形簡易水道事業の供給単価は147.18円、給水原価は167.83円で、差し引き販売利益は20.65円のマイナスとなっている。

